



地震あんしんカルテ

我が家に設置した地震計からデータを収集・解析し、地震が発生した後の建物の健全性を評価します。

【地震発生時刻】2016年11月22日 5時59分頃 【震源地】福島県沖 【マグニチュード】7.4 (深さ 25km)

観測地点 神奈川県横浜市 設置建物 一戸建て 木造 2階／2階建て

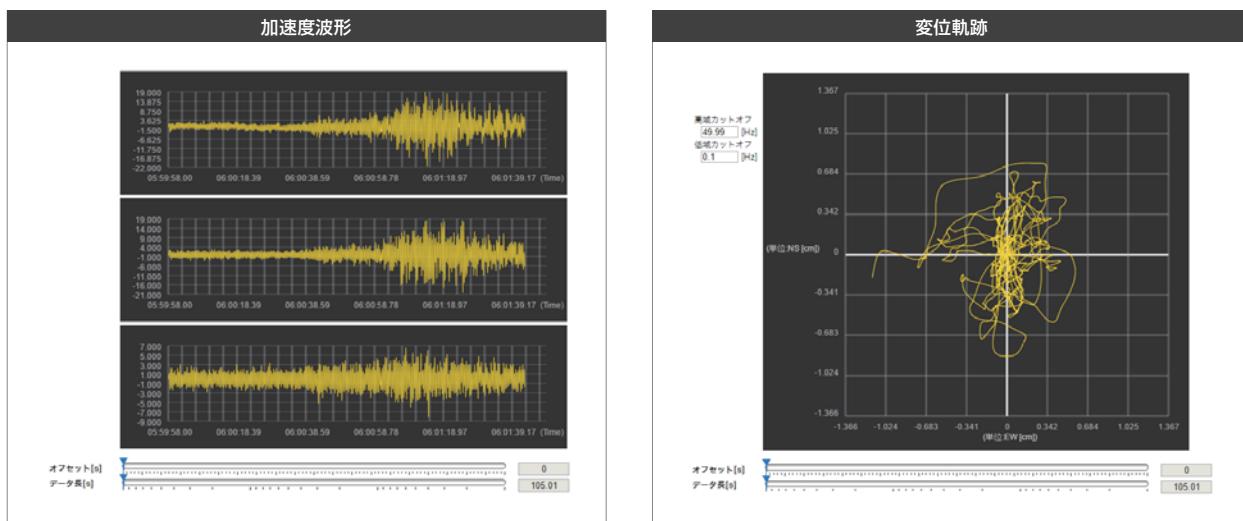
建物健全性評価: **健全** 震度: 3 計測震度: 3.0

観測値から推定される固有周期は両方向とも0.3秒で、同規模の建物と比較して長めとなっていますが、層間変形角は小さく、健全と判定されます。

※建物健全性評価は、計測したデータを基に独自で算出したものであり、建物の健全性の目安を示すものです。当カルテをご利用になったことにより生じるいかなる損害についても、一切責任を負いません。

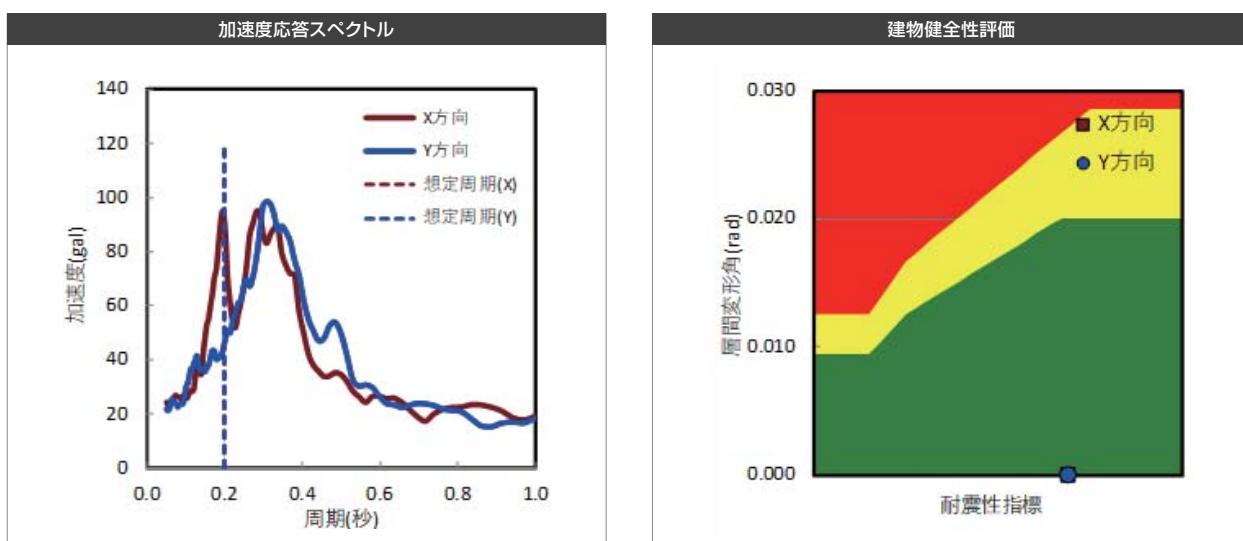
① 計測結果

計測したデータから建物の揺れの大きさや軌跡がわかります。



② 解析結果

解析結果から建物の健全性がわかります。



③ 地震ハザードカルテ

将来想定される地震の震度や地盤の揺れやすさなど、地震による危険度がわかります。

30年地震ハザード

今後30年間に震度6弱の揺れに見舞われる確率
33.0%【ランク:E 高め】

表層地盤增幅率

地表面近くに堆積した地層の地震時の揺れやすさ
1.18【ランク:B やや低め】



地震ハザードステーション

Japan Seismic Hazard Information Station

地震ハザードカルテ 2016年版



メッシュコード

中心緯度、経度

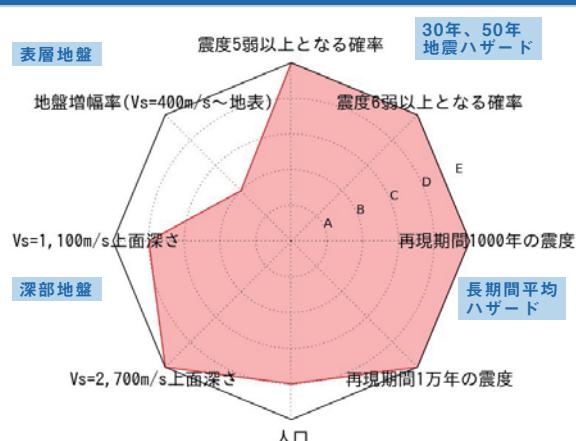
住所

観測地点記載の通り

標高

メッシュ内人口
950~1,000人

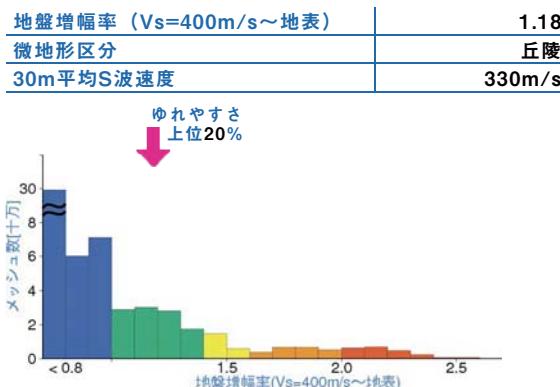
□ 総合評価



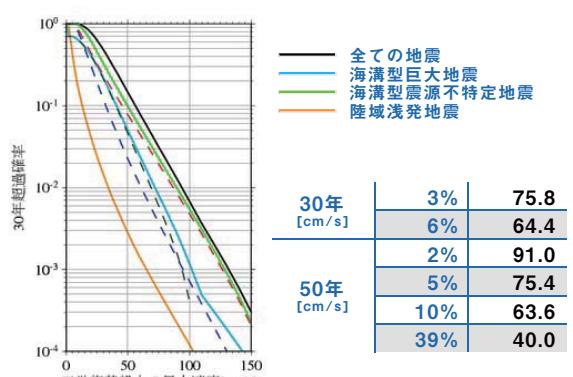
□ 30年、50年地震ハザード

超過確率の値[%]	30年	震度5弱	99.0
今後30年間にある震度以上の揺れに見舞われる確率の値です。		震度5強	81.9
震度の値	30年	震度6弱	33.0
今後30年または50年間にある値以上の確率で見舞われる震度の値です。	50年	震度6強	3.9
		3%	6強
		6%	6弱
		2%	6強
		5%	6強
		10%	6弱
		39%	6弱
	30年	3%	89.4
		6%	75.9
		2%	107.2
	50年	5%	88.9
		10%	74.9
		39%	47.1

□ 表層地盤

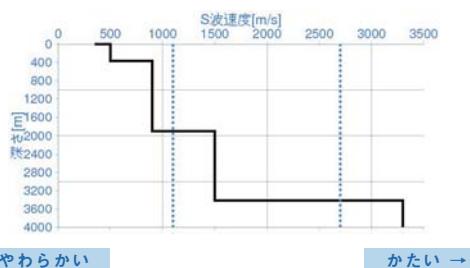


□ ハザードカーブと影響地震カテゴリー



□ 深部地盤

Vs=1,100m/s上面の深さ	1,894m
Vs=2,700m/s上面の深さ	3,416m



□ 長期間平均ハザード

震度の値	500年相当	6強
長期間の再現期間に対応する震度の値です。	1000年相当	6強
	5000年相当	6強
	1万年相当	6強
	5万年相当	7
	10万年相当	7